

# 性とジェンダーの絵本 46冊

『この本読んで！』  
(一財)出版文化産業振興財団(JPIC)発行  
メディア・パル 年4回発行

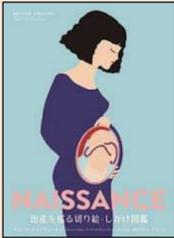
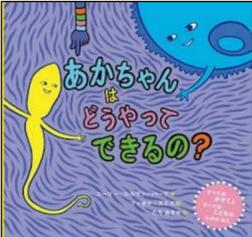
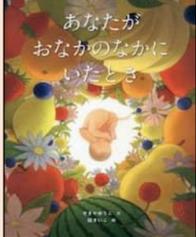
絵本と読みかぜの情報誌『この本読んで！』、全国各地の読みかぜ・絵本大好きな方々のネットワーク・交流を図る。  
日々たくさん出版される絵本のなかから読みかぜに最適なものを厳選して紹介する「新刊100」や、  
人気の絵本作家さんにインタビュー「こんにちは！絵本作家さん」など、「読みかぜ」や絵本の情報が盛りだくさん！

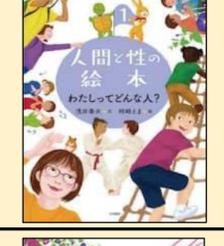


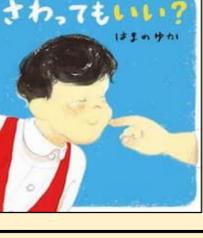
『この本読んで！』2023年秋(88)号  
特集「性とジェンダーの絵本」より許諾を得て参照

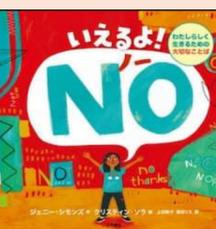
HP用ブックリスト作成  
野村邦重 2024.03.23

今、子どもたちに正しく性を伝えよう。  
自分らしく生きること、ひとりひとりが幸せになることを願って！

テーマ	書名	作者	出版社/出版年/税込価格
妊娠 出産	 <p><b>産産を巡る 切り絵・しかけ図鑑</b></p> <p>フランスで生まれた、レースのように繊細で美しい切り絵と、散りばめられた様々なしかけが楽しい新感覚の「切り絵・しかけ図鑑」シリーズ。精子と卵子の出会いから赤ちゃんが誕生した直後までの、妊娠と出産に関する情報を網羅。受精にいたるまでの精子の壮大な旅や、遺伝子情報、感覚の発達、胎児の月ごとの発達など、項目ごとに丁寧に解説します。</p>	エレーヌ・ドゥルヴェール/絵 ジャンクロード・ドゥルヴェール/文 弓井菜那・横田宇雄/訳 林 聡/監修	化学同人 2022.3 3,850円
妊娠 出産	 <p><b>あかちゃんの木</b></p> <p>赤ちゃんは、どこから来るの？オリーブは赤ちゃんの種を植えるんだっていうし、ロベルトさんは卵から生まれるっていうし、おじいちゃんはコウノトリが運んでくるっていう。パパとママにきいたら、ちゃんと答が返ってきたよ！—子どもたちの疑問にこたえる、あかちゃん誕生にまつわる絵本です。</p>	ソフィー・ブラッコール/作 やまぐちふみお/訳	評論社 2016.11 1,430円
妊娠 出産	 <p><b>あかちゃん はどうやって できるの？</b></p> <p>赤ちゃんはどこからくるの？と幼い子どもにきかれたら、この本の出番です。性別を表す言葉をいっさい使わず、肌の色を特定しないカラフルな色づかいで、人が生まれるしくみについて、わかりやすく楽しく語ります。多様な(生)とく(性)を尊重する精神に貫かれた、すべての子どもとすべての家族のための、画期的な性教育の絵本！</p>	コーリー・シルヴァーバーグ/文 フィオナ・スミス/絵 たちあすか/訳	岩波書店 2023.6 1,870円
妊娠 出産	 <p><b>あなたが おなかのなかに いたとき</b></p> <p>誕生までの10ヶ月って、どんな世界？胎児の成長を、果物の大きさになぞらえながら温かく見守っていきます。1ヶ月1見開きで、胎児の状態と母親の状態の両方を紹介。最後に詳しい解説も。生命の不思議にふれる美しい絵本です。</p>	せきやゆうこ/文 嶽まいこ/絵	アリス館 2022.11 1,760円
妊娠 出産	 <p><b>コウノトリが はこんだんじゃないよ！</b></p> <p>4歳からの性教育の絵本 おんなのこ、おとこのこ、あかちゃん、からだ、かぞく、ともだちのこと 子どもたちが知りたい「からだのこと」「自分がどこからきたのか」「男の子と女の子の違い」「友だちや家族」などについて、絵とマンガをまじえてやさしく説明します。この絵本をきっかけに親子で対話が始まるでしょう。</p>	ロビー・H.ハリス/著 マイケル・エンバーリー/イラスト 上田勢子/訳 浅井春夫・長香織/監修	子どもの未来社 2020.7 2,420円
妊娠 出産	 <p><b>すくすく いのち</b></p> <p>小さな卵から赤ちゃんになって生まれるまでの280日。絵本の赤ちゃんは、ほぼ原寸で描かれています。ある日、ママの おなかの中にある赤ちゃんの部屋(子宮)に、小さな小さな卵がやってきました。卵は少しずつ大きくなって、赤ちゃんになります。どんなふうに大きくなるのでしょうか？おなかの中の赤ちゃんの成長の様子と、そのときのママの身体の変化を4歳くらいからの子どもにもわかるように描きました。</p>	はまのゆか/著 佐々木裕子/監修	めくるむ 2021.9 1,760円
性と体について 考える	 <p><b>女の子のからだえほん</b></p> <p>国際標準の性教育を日本の子どもたち、そして大人たちへ体の構造から、思春期、性自認、性的指向、性的同意、愛などの人権教育に及ぶテーマまで扱った良書で、その公益性が認められ、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の認定マークを獲得しています。日本人が苦手とする性教育のテーマをタブーなく正しく語り、尊厳の本質を明確に教えてくれる本は、やがて社会に出ていく子どもたちが、これからの時代を自由に生きていく力になります。</p>	マティルド・ボディ/作・絵 ティフェーヌ・ディユームガール/作 長香織/監修 河野彩/訳	パイインターナショナル 2022.4 1,870円

性と体について考える		<b>男の子のからだえほん</b> 子どもたちを性暴力の被害者にも加害者にもしないために体の構造から、思春期、性自認、性的指向、性的同意、愛などの人権教育に及ぶテーマまで扱った良書で、その公益性が認められ、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の認定マークを獲得しています。『女の子のからだえほん』に続くシリーズ2作目。	マティルド・ボディ/作・絵 ティフェーン・ディユームガール/作 良香織/監修 河野彩/訳	パインインターナショナル 2023.7 1,870円
性と体について考える		<b>やさしくわかる性のえほん 1 あかちゃんはどこからくるの?</b> とまどわない! ごまかさない! はじめての性教育 「あかちゃんってどうやってできるの?」「どんなふうにもまれてくるの?」この絵本が教えてくれる! 「あかちゃんってどこからくるの?」ほくの頭の中は疑問でいっぱい。お父さんはごまかさず、ていねいに答えます。精子と卵子の出会いから胎児の成長、出産まで、読みすすむうちに命を大切に思う気持ちが芽生えます。子どもの率直な問いに向きあい、正しい知識と一緒に学ぶことで命や性を大切にすることを育てます。	田代美江子/監修 セベまさゆき/絵 WILLこども知育研究所/編著	金の星社 2022.2 1,430円
性と体について考える		<b>やさしくわかる性のえほん 2 じぶんのからだはどんなからだ?</b> とまどわない! ごまかさない! はじめての性教育 「どうしておんなのこにはおちんちんがないの?」「なんでおとなはけがはえてるの?」この絵本が教えてくれる! 「わたしにはどうしておちんちんがないの?」という素朴な疑問から、ひとりひとりみんなちがう大切な体なのだ気づくクミちゃん。プライベートパーツを含め、自分の体を知り、守るために必要な体の権利をまなびます。	田代美江子/監修 セベまさゆき/絵 WILLこども知育研究所/編著	金の星社 2022.3 1,430円
性と体について考える		<b>やさしくわかる性のえほん 3 すきって どんなきもち? いやって いえるかな?</b> とまどわない! ごまかさない! はじめての性教育 「好きな子にはどうすればいい?」「いやなことされたらどうすればいい?」この絵本が教えてくれる! ともだちが好き! 家族が好き! 虫が好き! ピンクが好き! 好きにもいろいろあるけれど、どう伝えたらいいのかな? 「好き」や「いや」という気持ちを伝えることの大切さや、人との関わりを広げていくことを学びます。	田代美江子/監修 セベまさゆき/絵 WILLこども知育研究所/編著	金の星社 2022.3 1,430円
性と体について考える		<b>性の絵本 せいって なーんだ?</b> わたしはくとかべつ)。あなたもくとかべつ)「性」って自分らしさです。だからみんなと違っていても大丈夫。子どもにはそのままの自分のことを好きになってほしい。それが自分と人を大切にできることに繋がります。そのヒントが満載の一步先を行く性教育絵本。	たきれい/作 高橋幸子/監修	KADOKAWA 2022.11 1,650円
性と体について考える		<b>おかあさんとみる性の本 ぼくのはなし</b> 父さんと母さんとで、ぼくという人間をつくってくれた。ぼくは、どこから生まれた? どのようにしてぼくが生まれたのかをさわやかに描き、ぼくとして生まれたことの喜びを語ります。出産・性交などの科学的な知識とともに、私たちがかけがえのない命を受け継いだ大切な存在であることを描く。	和歌山静子/作	童心社 1992.10 1,430円
性と体について考える		<b>おかあさんとみる性の本 わたしのはなし</b> 自分の体と心はたった一つの大切なものであること、プライベートゾーンを「水着でかくす部分」とわかりやすく伝え、そこをさわろうとしたりする大人がいたら、はっきり「やめて」と声を出そう、大人に話そう、と読者の子どもたちに語りかけています。	山本直英/作 和歌山静子/作	童心社 1992.10 1,430円
性と体について考える		<b>おかあさんとみる性の本 ふたりの はなし</b> むかし神様がつくった人間は、男と女が背中あわせでくっついていました。男の人と女の人、どうして愛しあうようになるのか? 女の人と男の人が、どうして一緒に暮らすのかを夢とロマンをこめて語ります。	山本直英/作 和歌山静子/作	童心社 1992.10 1,430円
性と体について考える		<b>人間と性の絵本 1 わたしって どんな人?</b> 名前、性別、家族、友だち、性格、好き嫌い、得意苦手、大切なこと、嫌なこと、好きな人……。『わたし』を形づくっている要素はたくさんあります。様々な角度から自分を見つめて、どんな『わたし』になりたいのかを考えます。	柿崎えま/絵 浅井春夫/文	大月書店 2022.2 2,750円
性と体について考える		<b>人間と性の絵本 2 からだって ステキ!</b> 受精卵から「おぎゃあ!」と生まれるまでに人間はどんなふうにも成長するのか? ごはんを食べたり、スポーツをしたり、なぜをひいたり、からだはどのように動いているのだろうか? からだを科学的に学ぶことは、自分を大切にすることの第一歩。	柿崎えま/絵 浅井春夫/文	大月書店 2021.10 2,750円

性と体について考える		<p>人間と性の絵本 3 <b>思春期って どんとき？</b></p> <p>柿崎えま/絵 水野哲夫/文</p>	<p>大月書店 2021.12 2,750円</p> <p>思春期は、おとなに頼る存在から責任あるおとなへと大きく変わる時期。その変化に驚いたり悩んだりするけど、正確な情報を知ることによって不安を減らせます。月経や射精、体毛や体臭、性的いじめなど、よくある疑問・質問に答えます。</p>
性と体について考える		<p>人間と性の絵本 4 <b>性は人権なの？</b></p> <p>柿崎えま/絵 良 香織/文</p>	<p>大月書店 2022.3 2,750円</p> <p>人間が生きることと深く関わる「性」。性について学ぶことは、生きるうえで必要不可欠な人権です。子どもの権利条約や、世界や日本で現在起きている様々な性の問題を通して、みんなが幸せに生きるためにできることを考えます。</p>
性と体について考える		<p>人間と性の絵本 5 <b>考えよう！人間の一生と性</b></p> <p>柿崎えま/絵 良 香織/文</p>	<p>大月書店 2022.2 2,750円</p> <p>人間が生まれてから死ぬまでの一生に「性」は関わり続けます。誕生、家族、学ぶ、働く、結婚や離婚、子育て、年を重ねる、死。人生のその時々で自分が最も良いと思うことを選択するために、様々な人生があることを学びます。</p>
性と体について考える		<p>プライベートパーツのえほん <b>ぼくのかぞく ぼくのかからだ</b></p> <p>きたがわめぐみ/作 今西洋介/監修</p>	<p>永岡書店 2023.3 1,100円</p> <p>親子で学ぶはじめての性教育。身体の中でいちばん大事なところってどこ？3歳になったら必ず教えておきたいこと。お母さんのおなかに、赤ちゃんがいるんだって。ぼくはもうすぐお兄ちゃんになるんだ。だいじなお母さんの体、ぼくが守ってあげるっていったら、「他の人も みんな 同じ。体はね、その人だけの だいじなものだよ」って。「みんな 同じ」なのに「その人だけの だいじ」があるの？それって、どういふこと？「いのち」と「プライベートパーツ」を教える、親子で学べる絵本です。</p>
性と体について考える		<p><b>からだのきもち</b> 境界・同意・尊重ってなに？</p> <p>ジェニー・サンダース/作 サラ・ジェニングス/絵 上田勢子/訳</p>	<p>子どもの未来社 2022.7 1,760円</p> <p>「境界・同意・尊重」は、大人になっても役立つ大切な生活スキルです。自分が自分のからだの主人公であること、自分同様に他者を尊重することの大切さを身近な例を通して伝えます。巻末に子どもと話し合うためのヒント集付き。自分のからだは自分のもの。相手のからだは相手のもの。自分と他者の気持ちを尊重して、さまざまな感情や暴力行動に気づくための絵本。</p>
性と体について考える		<p><b>さわっても いい？</b></p> <p>はまのゆか/著 佐々木裕子/監修</p>	<p>めくるむ 2023.1 1,980円</p> <p>えっちゃんは、たっくんのおっぱいをつんつん、つんつん、とさわります。でも、たっくん、だんだんいやなきもちになってきました。たっくん「やめて」って言えるかな？ちいさな子どもの遊びの中での出来事です。主人公・たっくんはいとこのお姉さん・えちゃんから、ふざけておっぱいを触られます。えっちゃんは、たっくんをかわいいと思っただけの延長でした。そうした時に、きちんと「いやだ」と伝えることができ、また「いやだ」と言われた方も、自分が遊びの延長だと思っただけで、相手にとって嫌なことはやってはいけないことなのだと伝えることを伝えます。</p>
性と体について考える		<p><b>パンツのなかの まほう</b></p> <p>なかがわさやこ/作 でぐちかずみ/絵</p>	<p>かがわ出版 2021.8 1,760円</p> <p>「あのね、じつはね、パンツをはいているばしょには、まほうがかくされているんだよ」。きらきらひかるステッキをふりながら、リスはいいました！楽しいお話を通して、「深刻な性被害に遭わないように、自分の体を守り、なにかあったら、すぐ信頼できる大人に言う」ことを、子どもたちに直接伝える絵本です。</p>
大人が学ぶ		<p>子どもと一緒に <b>楽しく学ぶ 性教育</b> どう考え、どう伝える</p> <p>遠見才希子/著 荻並トシコ/マンガ</p>	<p>ナツメ社 2023.2 1,430円</p> <p>性を「人権」の視点でとらえ、多様な考え方に触れながら、主体的に考え、幅広いテーマを体系的に学ぶ「包括的性教育」。本書はその学習目標を踏まえ、さまざまな家族が主人公のマンガをベースに、性教育についてわかりやすく解説しました。本書の伝え方を一例に、お子さんと性について話してみませんか。</p>
大人が学ぶ		<p><b>おうち性教育 はじめます</b></p> <p>フクチマミ/著 村瀬幸浩/著</p>	<p>KADOKAWA 2020.3 1,430円</p> <p>3～10歳、自分の体に興味を持ったら始めよう。日々の会話が子どもを守る子どもにどうやって伝えたら…が、マンガでわかる！「なんでママは立っておしっこしないの？」と聞かれたら、「知らないおじさんに髪をひっぱられた！」と子どもが泣いて帰ってきたら、どうしますか？おうち性教育＝子どもを守るための教育です。性教育を学ぶことは、実は「性犯罪の被害者・加害者にならない」「低年齢の性体験・妊娠のリスクを回避できる」さらに「自己肯定感が高まり、自分も人も愛せる人間になる」とメリットばかり！では、いつ頃から伝えるの？</p>
産婦人科医 遠見才希子さん		<p>性とからだの絵本 <b>あかちゃんが うまれるまで</b></p> <p>遠見才希子/作 相野谷由起/絵</p>	<p>童心社 2022.3 1,650円</p> <p>お母さんのおなかに赤ちゃんが来たんだって。でもどこから来たの？どうやって生まれるんだろう？ぼくとともに、赤ちゃんの誕生までによりそいます。</p>

産婦人科医 遠見才希子さん		性とからだの絵本 <b>うみとりくのからだのはなし</b>	遠見才希子/作 佐々木一澄/絵	童心社 2022.3 1,430円
産婦人科医 遠見才希子さん		性とからだの絵本 <b>おとなになるっていうこと</b>	遠見才希子/作 和歌山静子/絵	童心社 2022.3 1,650円
産婦人科医 遠見才希子さん		<b>だじ だじ どこだ?</b> はじめての「からだ」と「性」のえほん	えんみさきこ/作 かわはらみずまる/絵	大泉書店 2021.7 1,320円
自分らしく 生きる		<b>いえるよ! NO</b> わたしらしく生きるための大切なことば	ジェニー・シモンズ/作 クリスティン・ソラ/絵 堀切りエ/訳	大月書店 2022.1 1,870円
自分らしく 生きる		<b>色とりどりの ぼくのつめ</b>	アリシア・アコスタ/文 ルイス・アマヴィスカ/文 ガステイ/絵 石井睦美/訳	光村教育図書 2022.12 1,650円
自分らしく 生きる		<b>ジュリアンはマーメイド</b>	ジェシカ・ラブ/作 横山和江/訳	サウザンブックス社 2020.5 1,980円
自分らしく 生きる		<b>ぼく、ひつじじゃなくて ぶたなんだ</b>	ピム・ラマース/文 ミルヤ・プラーフマン/絵 長山さき/訳	ほるぷ出版 2020.10 1,650円
自分らしく 生きる		<b>マチルダと ふたりのパパ</b>	メル・エリオット/作 三辺律子/訳	岩崎書店 2019.3 1,650円
自分らしく 生きる		<b>ふたり ママの家で</b>	パトリシア・ボラッコ/絵・文 中川亜紀子/訳	サウザンブックス社 2018.10 2,530円
自分らしく 生きる		<b>だがし屋のおっちゃんはおばちゃんなのか?</b>	多屋光孫/作	汐文社 2022.11 1,760円

偏見をなくすために		<b>せかいでさいしょにズボンをはいた女の子</b> <small>キース・ネグレー/作 石井睦美/訳</small>	<small>光村教育図書</small> 2020.12 1,650円
偏見をなくすために		<b>世界じゅうの女の子のための日</b> <small>国際ガールズ・デーの本</small> <small>ジェシカ・ハンフリーズ/文 ロナ・アンブローズ/文 シモーネ・シン/絵 国際NGOプラン・インターナショナル/訳・解説</small>	<small>大月書店</small> 2021.9 2,860円
偏見をなくすために		<b>男の子は強くなきゃだめ？</b> <small>ジェシカ・サンダーズ/文 ロビー・キャスロ/絵 西田佳子/訳</small>	<small>すばる舎</small> 2022.4 1,980円
偏見をなくすために		<b>女の子だから、男の子だからをなくす本</b> <small>ユン・ウンジュ/文 イ・ヘジョン/絵 すみみ/訳</small>	<small>エトセトラブックス</small> 2021.3 2,200円
偏見をなくすために		<b>ピンクは おとこのこのいろ</b> <small>ロブ・パールマン/文 イダ・カバン/絵 ロバート・キャンベル/訳</small>	<small>KADOKAWA</small> 2021.11 1,650円
偏見をなくすために コミック		<b>女の子がいる場所は</b> <small>やまじえびね/著</small>	<small>KADOKAWA</small> 2022.6 814円
大人が学ぶ		<b>これからの男の子たちへ</b> <small>「男らしさ」から自由になるためのレッスン</small> <small>太田啓子/著</small>	<small>大月書店</small> 2020.8 1,760円
性差別と偏見と闘った女性		<b>わたしは反対！</b> <small>社会をかえたアメリカ最高裁判事 ルース・ベイダー・ギンズバーグ</small> <small>デビー・リヴィ/文 エリザベス・バドリー/絵 さくまゆみこ/訳</small>	<small>子どもの未来社</small> 2022.11 1,980円
性差別と偏見と闘った女性		<b>大統領を動かした女性</b> <small>ルース・ギンズバーグ 男女差別とたたかう最高裁判事</small> <small>ジョナ・ウィンター/著 ステイシー・イナースト/絵 渋谷弘子/訳</small>	<small>汐文社</small> 2018.3 1,980円

本の紹介コメントは、「e-hon」サイトの「出版社・メーカーコメント・要旨・オススメコメント」と、「絵本ナビ」サイトの「出版社からの内容紹介」から編集して転載。